

2 本時について

- (1) 本時目標 ロケットを遠くまで飛ばすために、必要な羽の枚数を考えて、ロケットを作ることができる。
- (2) 本時展開

学 習 活 動	主な支援・留意点 ◆評価【観点】
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> はねは、なんまいつけると よくとぶのかな </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 2まい ・かるい ・かみひこうきはねみたい </div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">VS</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 3まい ・バランスがとれそう </div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">VS</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 4まい ・たくさんはねがあつたほうがよくとびそう </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #add8e6; width: 20%;"> ながいと びらびらする </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #add8e6; width: 20%;"> すぐ おちる </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #add8e6; width: 20%;"> たかくうえ にいく </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> とおくまで とばしたい！！ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #add8e6; width: 20%;"> 短い羽のほうが とびそう </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #add8e6; width: 20%;"> はねの大きさを 前と後ろでかえて みようかな? </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #add8e6; width: 20%;"> おもりもつけて みたいな </div> </div>	<p>○これまでの学習を振り返り、ロケットについての考えを思い出す。</p> <p>○自分の考えに近い所にネームプレートを貼らせ、考えをはっきりさせる。</p> <p>○考えの根拠になったことを話し合わせる。</p> <p>○制作する時間を確保する。</p> <p>○話し合いとロケット作りを繰り返す中で自分の考えをまとめられるようにする。</p> <p>○友だちのロケットと自分のロケットを見比べる時間を作り、互いのよさを見つける。</p> <p>○遠くまで飛ばすにはどうしたらよいかを考えを持つ【気づき】</p>

3 実践を終えて

(1) 単元構想について

工作活動が好きな児童が多く、傘袋を使ったロケット作りは、身近にある傘袋を普段とは違う用途に活用することを楽しみながら活動することができた。

(2) 本時について

本時では、ロケットをよく飛ばすための考えを焦点化するために、羽の枚数に着目した。ネームプレートを使って自分の予想する羽の枚数について考えを表示させることは、自分の考えを明確にして、まわりの児童へ伝えることにつながった。

予想を話し合う時間・作って飛ばす時間・ふり返る時間を45分間で行う時間配分の難しさを感じた。活動に重きを置いて時間設定をしたつもりだったが、満足に作る時間が足りない児童もいた。

(3) 本時後について

傘袋ロケットを遠くまで飛ばすためには、羽の形や大きさ、羽をつける位置、前方に重りをつけるなど、たくさんの工夫が必要である。また、飛ばすための力加減や、投げる向きなど技術的にもさまざまな要素が必要だが、子どもたちはそれぞれ自分なりの考えをもち、自分がよく飛ぶと思うロケットについて考えを發表することができた。そこから、よく飛ぶ友だちの意見を取り入れることもあれば、「ここだけは変えたくない」という自分の思いを強く持ちながら改善を重ねる様子も見られた。友だちの意見を取捨選択しながらよりよいものに作りかえていく経験ができた。

(4) 成果と課題

入学当初から、「相手に伝わる声で、相手を見ながら話す」「話している人をよく見て聞く」ことを指導してきた。今回の話し合いの場でも意識しながら話そうとしたり、聞こうとしたりする様子が見られたが、いつも積極的に話す児童は限定されてきている。いろいろな児童が自信を持ち、進んで話せるように、成功経験を積んでいきたい。

また、自信を持って話すためにも1年生は根拠を考えるための土台となる経験や語彙が少ないことも感じた。羽の枚数をなんとなく予想することはできても、しっかりと根拠を持つことは1年生にはかなり難しかった。だからこそ、さまざまな生活経験を積み、気づきを言葉に表していくことが1年生では大切である。1年生でのさまざまな経験が、学年が上がったときに根拠として活用できるように、一日一日の経験を大切に積み重ねていきたい。